

東証1部 (4733)

勘定奉行の



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

基幹業務システム

奉行 10

DUAL MODE

On-premise Public Cloud Service



すべての業務とつながるひろがる

奉行クラウド

株式会社 オービックビジネスコンサルタント

2019年3月期
第2四半期決算説明会

2018年10月30日

2019年3月期 第2四半期決算の概要

2019年3月期 第2Q決算の概況

売上高

前年同期比 18.6%増

ソリューション売上が前年同期比1,419百万円増（49.7%増）、サービス売上が同621百万円増（9.3%増）となり、売上高合計では同2,042百万円増（18.6%増）となった。

売上総利益

前年同期比 18.9 %増

◆原材料費が198百万円増加

営業利益

前年同期比 31.9%増

◆販管人件費が174百万円、研究開発費が106百万円、その他経費の増加が127百万円等により、販売費及び一般管理費が472百万円増加

経常利益

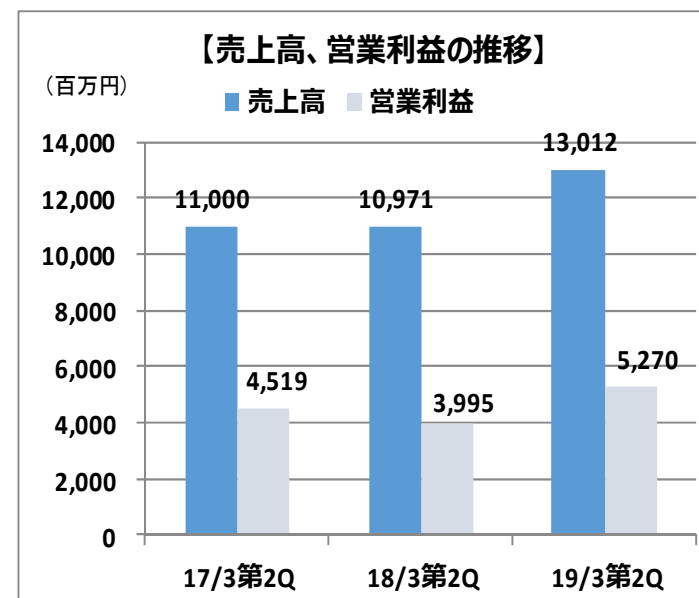
前年同期比 12.8%増

◆受取配当金が453百万円発生

当期利益

前年同期比 33.5%増

◆投資有価証券売却益（特別利益）1,408百万円を計上



2019年3月期 第2Q決算の概要

(百万円)	18/3期 第2Q		19/3期	19/3期 第2Q		
		構成比 (%)	第2Q 期初予想		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	10,971	100.0	11,600	13,012	100.0	18.6
売上総利益	9,234	84.2	9,800	10,981	84.4	18.9
販売管理費	5,239	47.8	5,300	5,711	43.9	9.0
営業利益	3,995	36.4	4,500	5,270	40.5	31.9
営業外損益	1,102	10.0	500	479	3.7	△56.5
経常利益	5,097	46.5	5,000	5,749	44.2	12.8
当期利益	3,710	33.8	4,372	4,953	38.1	33.5

部門別売上高

(百万円)	18/3期 第2Q		19/3期	19/3期 第2Q		
		構成比 (%)	第2Q 期初予想		構成比 (%)	前期比 (%)
ソリューション	2,855	26.0	3,100	4,274	32.8	49.7
関連製品	1,432	13.1	1,400	1,433	11.0	0.1
サービス	6,684	60.9	7,100	7,305	56.2	9.3
合計	10,971	100.0	11,600	13,012	100.0	18.6

ソリューション

- ◆ 奉行V ERP及び奉行NETWORK Editionのバージョンアップ需要が大幅に増加
- ◆ IT導入補助金の累計決定数（二次公募まで）は、246件・受注金額は96百万

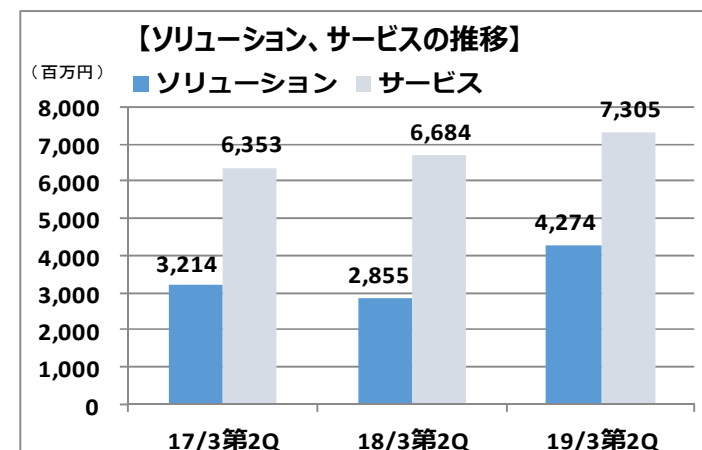
関連製品

- ◆ 奉行連動ソリューションが106百万円増加、それ以外の項目が合わせて同額減少したため前年同期比で横這い

サービス

- ◆ 奉行保守契約料等が525百万円増加※
- ◆ インストラクター指導料収入が111百万円増加

※ 奉行Edgeの増加を含む



ソリューション別出荷数量（本数ベース、バージョンアップ含む）



(単位:本)	18/3期 第2Q		19/3期 第2Q		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
奉行 V E R P	550	7.1	1,034	9.6	88.0
NETWORK Edition	2,008	25.8	2,757	25.6	37.3
S t a n d a l o n e	4,876	62.8	6,640	61.8	36.2
J シ ス テ ム	334	4.3	322	3.0	△3.6
合 計	7,768	100.0	10,753	100.0	38.4

※新ERPはNetwork Editionに含んでいます（18/3期 第2Q 106本、19/3期 第2Q 129本）

前年との比較

	新規本数	バージョンアップ本数
奉行 V E R P	35.0%増加	143.0%増加
NETWORK Edition	10.5%減少	52.2%増加
S t a n d a l o n e	2.4%増加	49.1%増加
J シ ス テ ム	2.7%減少	9.7%減少

※新ERPはNetwork Editionに含んでいます（新規 63.0%減少、バージョンアップ 50.6%増加）

◆都銀向けOEM製品

- 2018年7月末稼働本数：21,982本
- 2017年7月末稼働本数：23,530本

◆地銀向けOFFICEBANK

- 当期出荷本数：280本（前年同期：396本）



提携先	商品名	提供時期
U F J 銀行	U-LINE Xtra	1998年5月
東京三菱銀行	せるふバンク	2000年5月
三井住友銀行	パソコンバンク・ナビ・ジュニア	2000年9月
みずほ銀行	みずほ2000	2000年9月

«EBソリューション»

Electronic Bankingの略。企業や家庭のコンピュータと金融機関とを通信回線で結び、オフィス・自宅にいながらにして金融機関のサービスを利用すること。

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	18/3期 第2Q		19/3期 第2Q		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	10,971	100.0	13,012	100.0	18.6
販売及び管理費	5,239	47.8	5,711	43.9	9.0
販管人件費	1,737	15.8	1,911	14.7	10.0
研究開発費	1,220	11.1	1,326	10.2	8.7
広告宣伝費	429	3.9	439	3.4	2.3
地代家賃	228	2.1	266	2.0	16.7
減価償却費	169	1.5	186	1.4	10.1
その他経費	1,456	13.3	1,583	12.2	8.7

注) 伸率は前年同期比増減率

- ◆ 販管人件費、研究開発費の増加要因
 - 新入社員の増加（前期43名、今期67名）
 - 上期の売上実績に対して、業績手当を97百万円支給
- ◆ その他の経費の主な増減項目
 - 展示会費54百万円増・・・奉行フォーラムを例年より1ヶ月前倒しで9月より開催
 - 販売促進費25百万円増・・・IT導入補助金活用セミナーを開催
 - 支払手数料24百万円増、旅費交通費16百万円増

貸借対照表－資産の部

		18/3	18/9	
			増減	
(百万円)				
流動資産	現金預金	87,123	92,016	4,893
	受取手形	1,599	1,348	△251
	売掛金	6,580	4,723	△1,857
	たな卸資産	187	213	26
	その他	504	210	△294
	貸倒引当金	△13	△22	△9
固定資産	有形固定資産	537	474	△63
	無形固定資産	454	427	△27
	投資その他の資産	26,949	29,619	2,670
資産合計		123,920	129,008	5,088

貸借対照表－負債・資本の部

(百万円)		18/3	18/9	増減
負債合計	買掛金	244	222	△22
	未払金	499	571	72
	未払法人税等	2,232	1,880	△352
	前受収益	10,858	9,143	△1,715
	退職給付引当金	1,651	1,785	134
	その他	3,172	4,588	1,416
負債合計		18,656	18,189	△467
資本合計	資本金	10,519	10,519	0
	資本剰余金	18,949	18,949	0
	利益剰余金	71,557	75,008	3,451
	有価証券評価差額金	9,588	11,692	2,104
	自己株式	△5,349	△5,349	0
資本合計		105,264	110,819	5,555
負債・資本		123,920	129,008	5,088

※17/9期残高 8,058千円

キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)	18/3	18/9	主な増減理由	
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,116	4,774	税引前利益	7,159
			減価償却費	221
			売上債権減少額	2,107
			未払費用増加額	290
			前受収益減少額	△1,715
			法人税等支払額	△2,125
			その他	△1,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	516	1,622	投資有価証券の売却等	1,780
			有形固定資産の取得	△43
			無形固定資産の取得	△120
			その他	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,819	△1,503	配当金支払	△1,503
現金及び現金同等物の増加額	5,813	4,893		
現金及び現金同等物期首残高	81,300	87,113		
現金及び現金同等物期末残高	87,113	92,006		

2019年3月期 事業計画

計画の前提

売上高 前年同期比17.0%増 275億円

(参考：前期実績)

(百万円)	上期 (実績)	下期 (計画)	通期計画
ソリューション	4,274	4,988	9,262
関連製品	1,433	1,800	3,233
サービス	7,305	7,700	15,005
合計	13,012	14,488	27,500

前上期	前下期
2,855	3,725
1,432	1,756
6,684	7,062
10,971	12,543

営業利益 前年同期比 18.1%増 115億円

- ◆販売費及び一般管理費の計画は、上期の5,710百万円の実績に対して下期は上期実績+αの5,890百万円に設定。

経常利益 前年同期比 11.6%増 125億円

- ◆上場リートからの配当金収入は下期も発生

当期利益 前年同期比 12.9%増 92.3億円

2019年3月期 通期事業計画

(百万円)	18/3期		19/3期 計画			
		構成比 (%)		構成比 (%)	増減額	前期比 (%)
売上高	23,513	100.0	27,500	100.0	3,987	17.0
売上総利益	19,844	84.4	23,100	84.0	3,256	16.4
販売管理費	10,107	43.0	11,600	42.2	1,493	14.8
営業利益	9,737	41.4	11,500	41.8	1,763	18.1
営業外損益	1,461	6.2	1,000	3.6	△461	△31.6
経常利益	11,198	47.6	12,500	45.5	1,302	11.6
当期利益	8,172	34.8	9,230	33.6	1,058	12.9

19/3期の法人税等実効税率：30.6%

部門別売上高

(百万円)	18/3期		19/3期 計画			
		構成比 (%)		構成比 (%)	増減額	前期比 (%)
ソリューション	6,580	28.0	9,262	33.7	2,682	40.8
関連製品	3,188	13.6	3,233	11.8	45	1.4
サービス	13,745	58.4	15,005	54.5	1,260	9.2
合計	23,513	100.0	27,500	100.0	3,987	17.0

ソリューション

- ◆ 奉行V ERP、奉行NETWORK Editionのバージョンアップに加え、下期からは奉行Standaloneのバージョンアップが本格化
- ◆ 消費税改正に伴う需要が発生

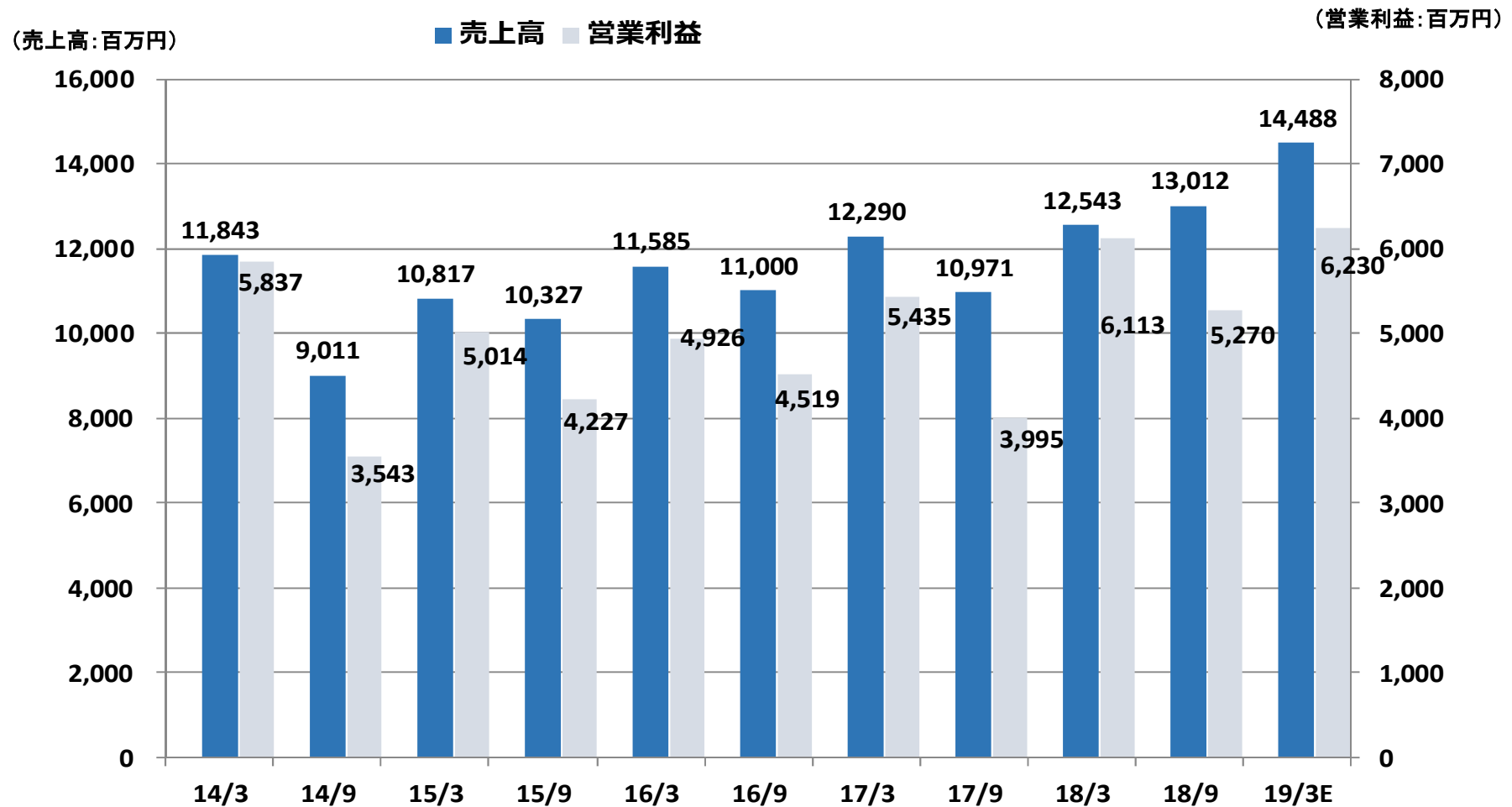
関連製品

- ◆ 前年同期比で横這い

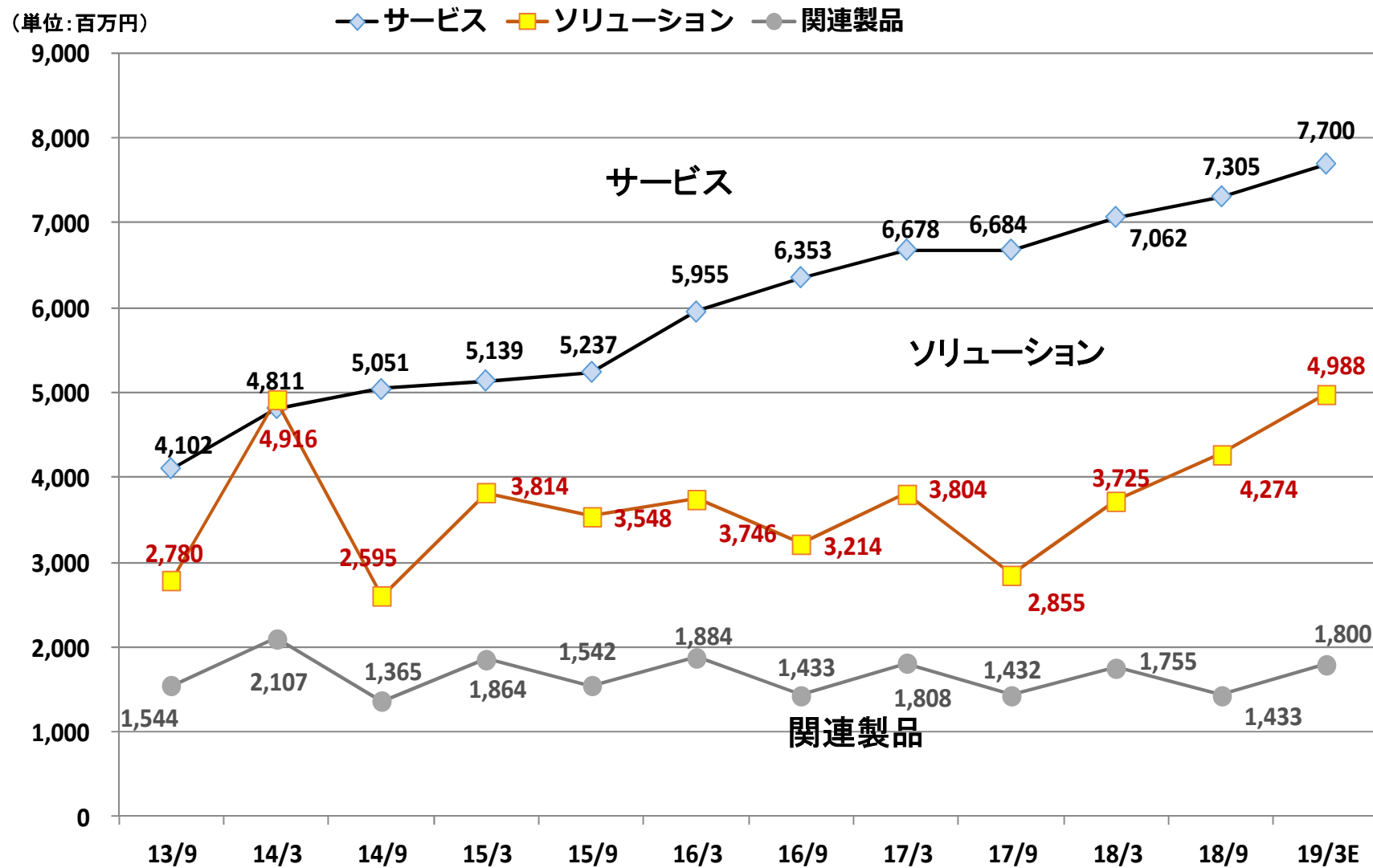
サービス

- ◆ 9月末におけるB/S上の前受収益が前年同期比1,084百万円増加
- ◆ 奉行Edgeが、徐々に収益に寄与

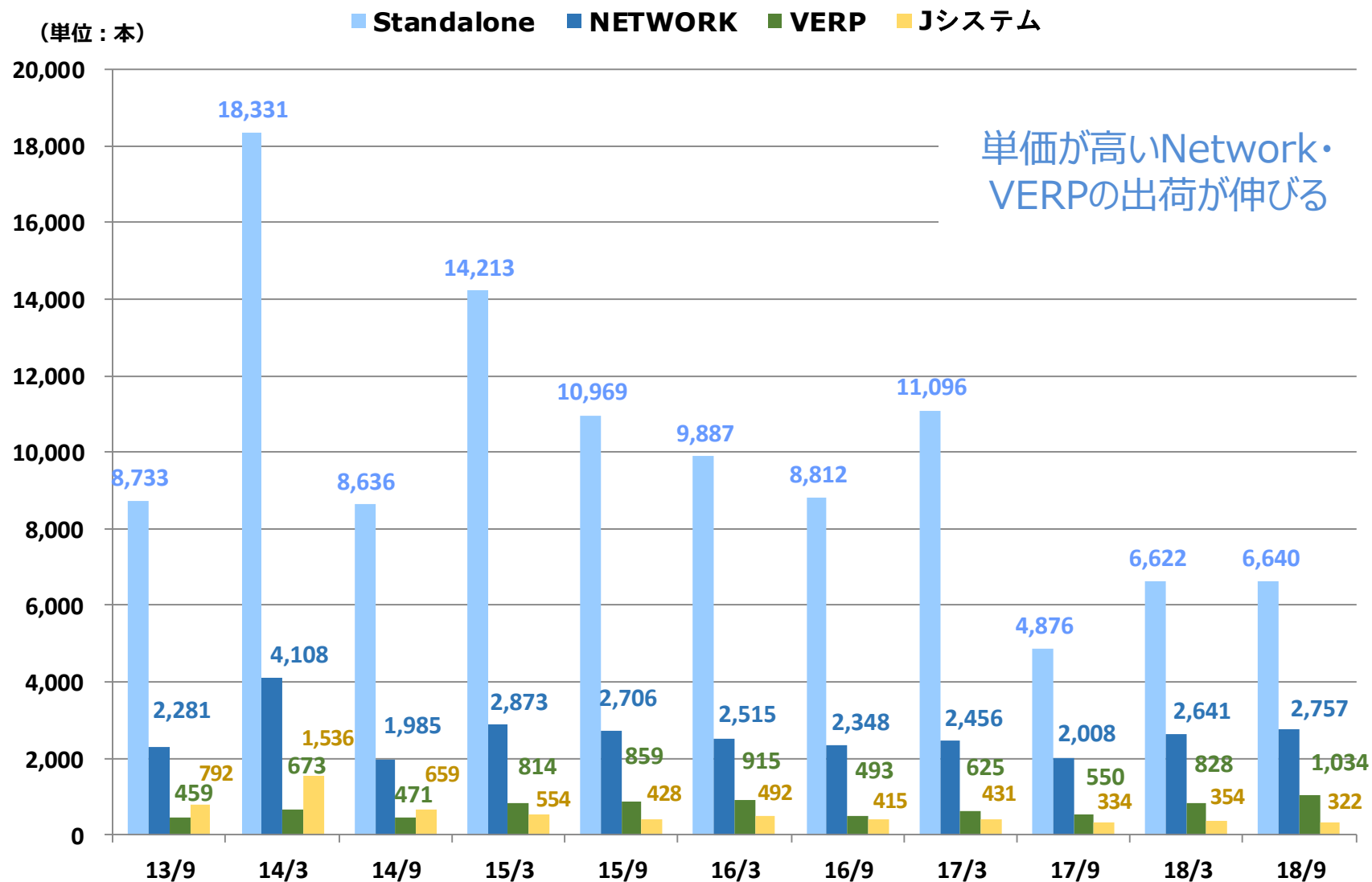
業績の推移（半期ベース）



品目別売上高（半期ベース）



ソリューションの出荷数量（半期ベース）



2019年3月期 事業戦略

1. つながるひろがるコネクティビティの実現

職業専門家とのコラボレーション、APIによるデータ連動・アプリケーション連携を推進

2. 業務の自動化の実現（RPA）

金融機関・銀行取引自動連携・電子取引・電子帳簿など業務の自動化の推進

3. 強固で安心・安全なセキュリティの実現

マイクロソフトのプラットフォームで実現する安心・安全な業務環境を提供する

1. つながるひろがるコネクティビティの実現

クラウドでデータの共有や連携ができるようになると
今まで必要だった業務がなくなる

つながり、ひろがるクラウドで生産性を向上

データが自動的につながれば、
データ受入や入力作業が
なくなる



人とつながる
専門家ライセンス

税理士等の
専門家とつながる
「専門家ライセンス」

人がクラウドでつながれば、
情報共有のための
やり取りがなくなる



業務とつながる
奉行クラウド
API version

様々なアプリや
データとつながる
「奉行クラウドAPI version」

※ 奉行クラウドAPI Version : API (Application Programming interface) を実装した奉行クラウド製品。他のシステムとの自動連携を実現し、二重入力等の業務負担を削減できるシステム。(2018年7月27日リリース)

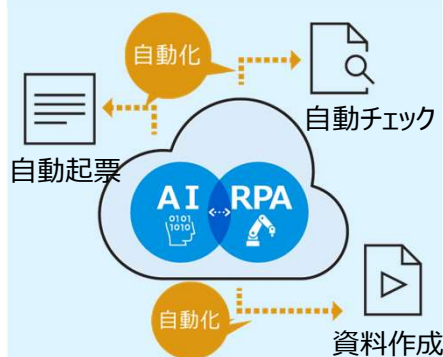
2. 業務の自動化の実現（RPA）

業務クラウドを選ぶと、企業の業務に具体的な変化が起きる

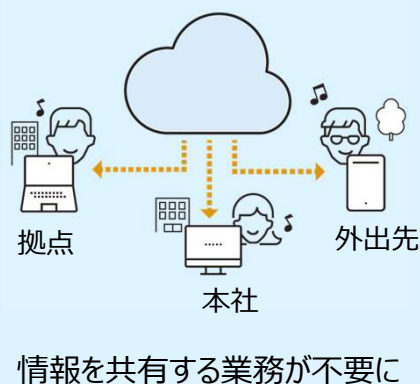
利便性の向上

業務プロセスが減り、業務が効率化

先進的な技術により
業務を自動化



つながる仕組みによって
業務そのものがなくなる

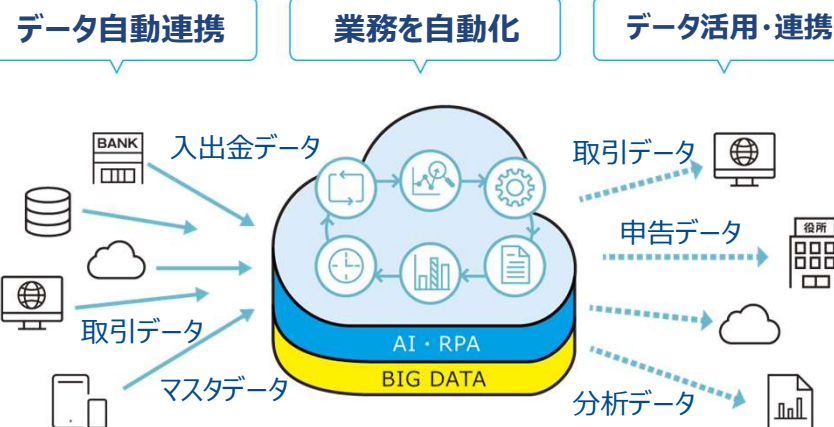


AI : Artificial Intelligence 人工知能
RPA : Robotic Process Automation ロボットによる業務の自動化

将来性

将来、業務そのものを変えていく

クラウドであらゆる業務やデータがつながり、
自動的にプロセスが流れるようになる



3. 強固で安心・安全なセキュリティの実現

災害時にも安心のサービス体制に加え、
リソースの自動調整により、常に高いパフォーマンスを維持

世界トップレベルのセキュリティで安心

マイクロソフトの 国内データセンターのみで 災害復旧対策を実現

- ✓日本国法に準拠
 - ✓事業継続計画/災害復旧（BCP/DR※）対策に貢献
- ※ディザスターリカバリ

月間稼働率99.9%※₁を保証

- ✓「Microsoft Azure」のSLA※₂にて月間稼働率をコミット

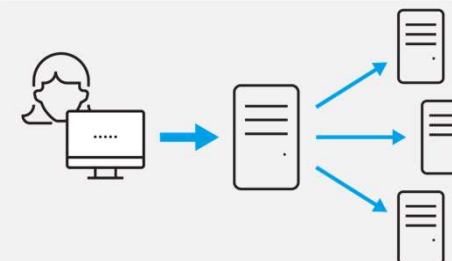
※₁ 奉行クラウドが採用している「Azure SQL Database」の月間稼働率
※₂ サービスレベルアグリーメント

東日本データセンターを
中心に、西日本のデータ
センターをバックアップ
センターとして活用



繁忙期の業務増加にも 高いパフォーマンスを維持

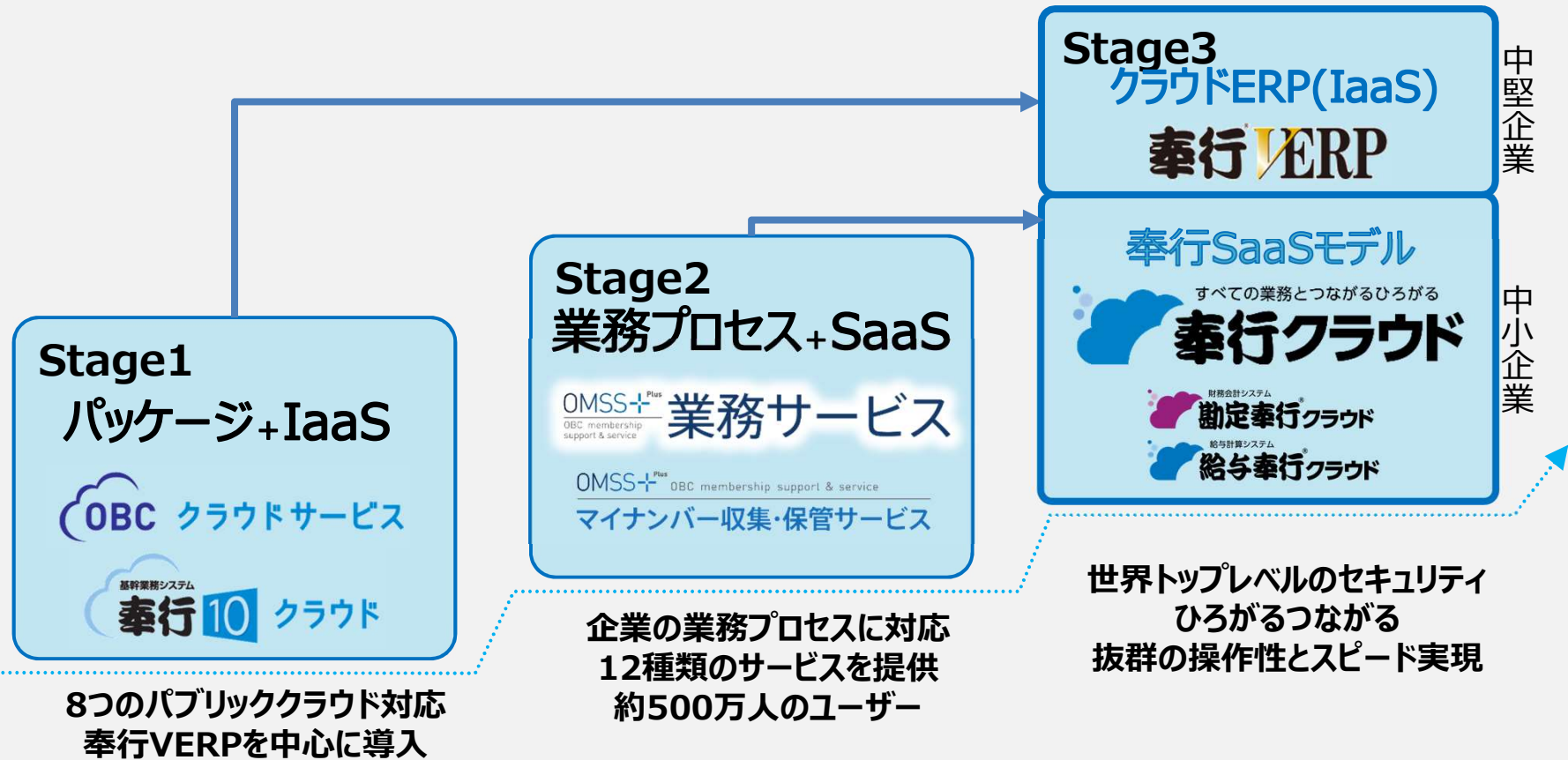
- ✓常にリソース利用状況を監視
- ✓自動的に負荷分散



奉行クラウドは、累計56万社※のお客様が安心・快適に業務ができる大規模クラウドプラットフォーム

※ 奉行シリーズの累計導入社数は56万社（2018年3月現在）

着実にクラウド化のステップを実現



奉行クラウドに関連した上期活動

1. TVCMの放映「奉行クラウド誕生」



2. 奉行クラウドフォーラムの開催



「環境変化への対応」の答えがここに。

2018 9.12 WED ▶ 10.25 THU



全国12会場 15,000人來場目標

3. マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2018 Application Innovation Award 最優秀賞を受賞



Microsoft Azureを採用した『奉行クラウド』・『奉行クラウドEdge』の開発・取り組みで、基幹業務系システムのクラウド化が評価され、受賞に至りました。

4. 奉行クラウドAPI Version 第一段 「勘定奉行クラウド&スマレジ連携」

スマレジ：株式会社スマレジ社が提供するクラウドPOSレジシステム

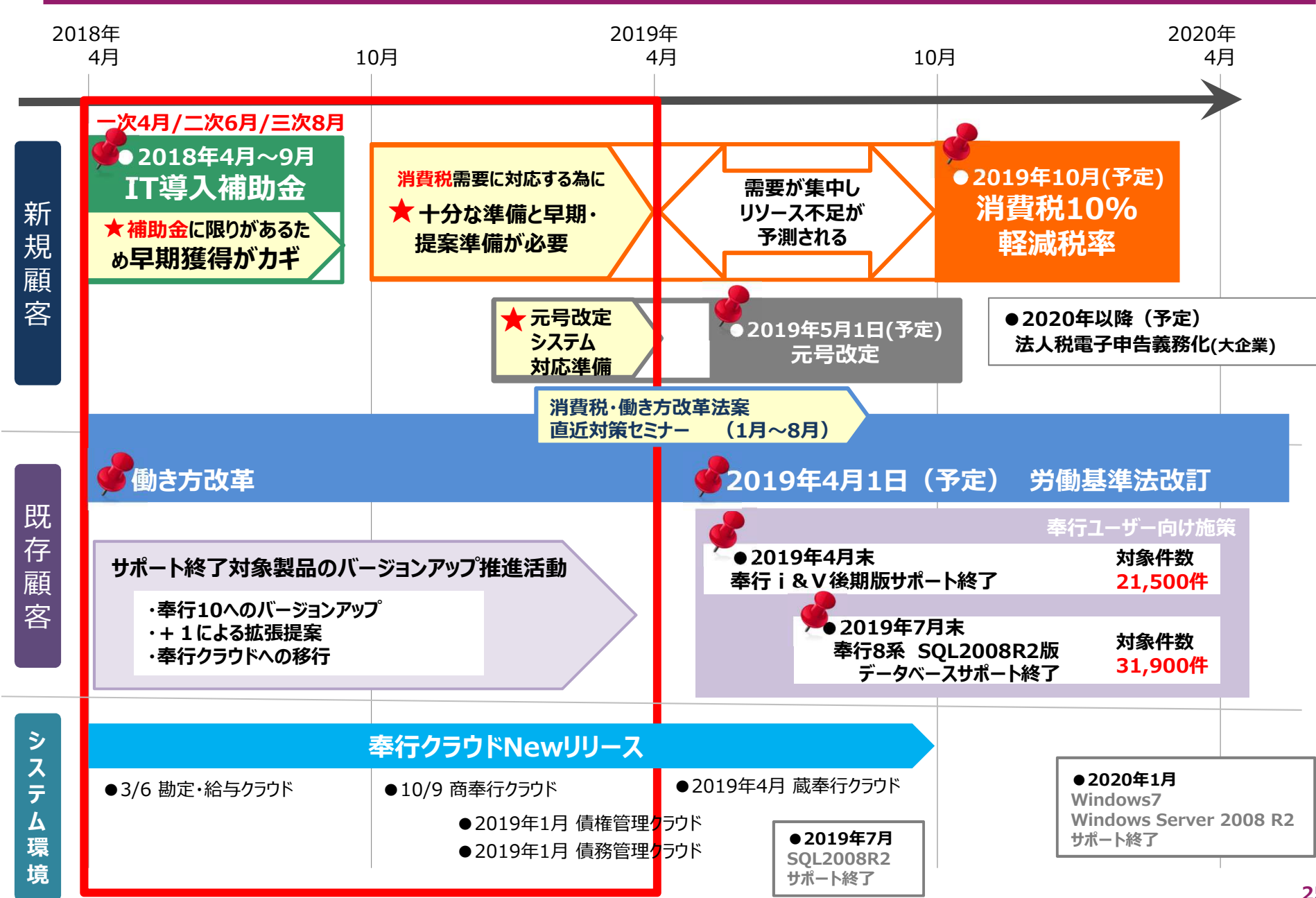
5. 国内約1,200の金融機関。MoneyLookとの 連携による仕訳自動化の実現

MoneyLook：SBIビジネス・ソリューションズ株式会社が提供する金融機関サイトへの自動ログイン、自動記帳サービス

6. 販売管理にこそクラウドの力を！ 「商奉行クラウド」をリリース



2018~2019年度 主な活動スケジュール



本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

www.obc.co.jp